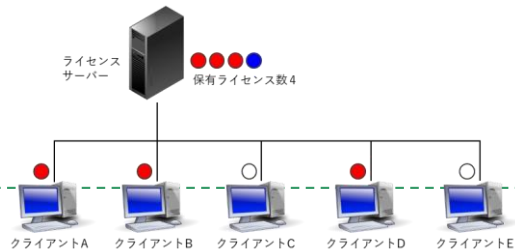


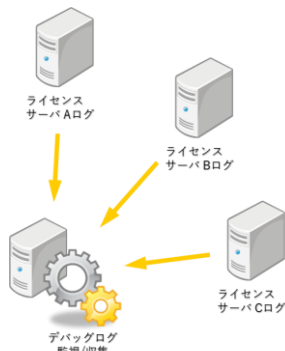
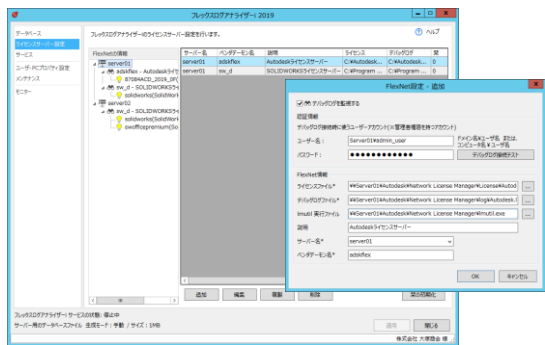
# フレックスログアナライザ i 2019



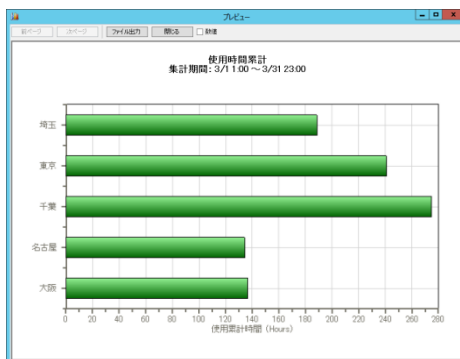
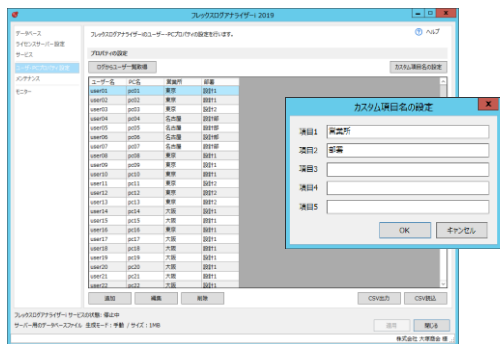
ネットワークライセンス管理ソフトFlexNetが出力するデバッグログファイルを元に、ライセンスの使用状況を分析するツールです。  
 随時変化していくライセンスの使用状況の可視化と、効率的なライセンス管理を支援します。

## 製品特徴

▶ 企業内に複数存在するライセンスサーバのFlexnetデバッグログを一括管理できます。



▶ オリジナルのプロパティ情報（部署など）が登録でき、集計に利用できます。

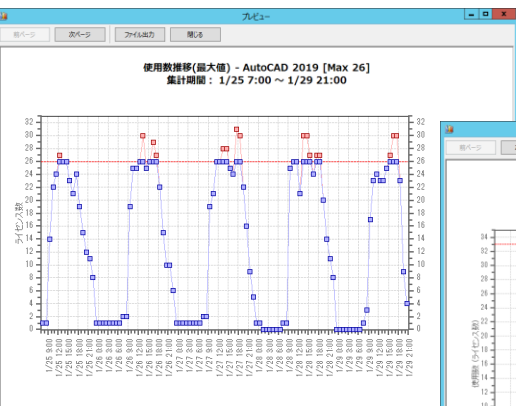


(例：地域別 使用時間累計)

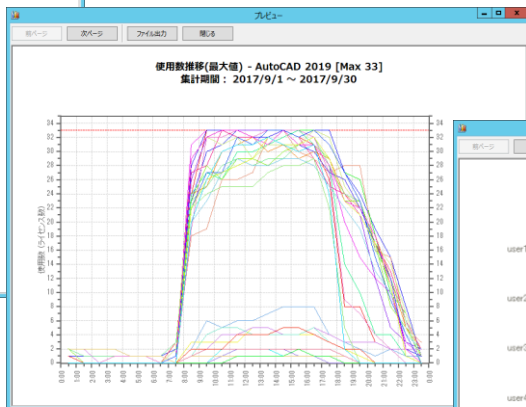
**積み重ねたノウハウで**  
**効率的なライセンス管理を支援します！**

AUTODESK製品とSOLIDWORKS製品のログ分析で培ったノウハウを結果！  
 ピーク時の需要に対応できるライセンス数の検討や、遊休ライセンスの有効活用など、  
 ソフトウェア経費の最適化をお手伝いします。

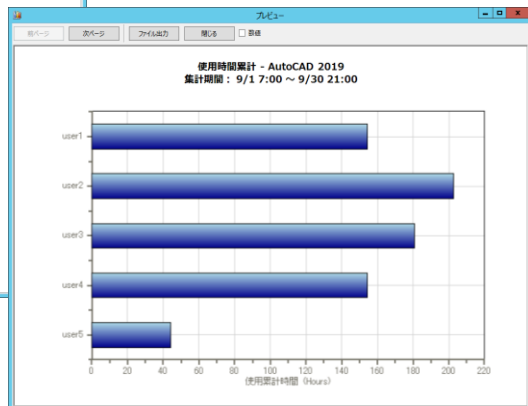
## レポートサンプル



(ライセンスの使用数と拒否数推移)



(ライセンス使用ピーク時間帯の把握)



(ユーザ別使用時間)

## ソフトメンテ保守ってなに？

ご契約期間中、最新版をダウンロードして、最新機能を利用できる安心の年間保守サービスです。

### ✓ 常に最新バージョンが利用できます！

新しいプラットフォームにもいち早く対応でき、常に最新機能がご利用いただけます。

### ✓ バージョンアップ費を計画的に予算化できます！

年間契約なので予算化がスムーズに行えます。バージョンアップの際、突然の費用が発生しません。

### ✓ バージョンアップ費より断然お得！！

数年後スポット的にバージョンアップするより、コスト面でも非常に大きなメリットがあります。

## ■ ソフトメンテナンス保守のご加入は、新規購入時またはバージョンアップ時と同時に申し込みに限られます。是非ご加入をご検討ください。

※ 途中加入はできませんのでご注意ください。バージョンアップ時にお申込みの場合は、別途バージョンアップ費用が必要となります。

## 動作環境

### ➤ 対応OS一覧

	本体(サービス)	レポート
OS	Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 SP1以降 Windows Server 2008 SP2以降	Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 SP1以降 Windows Server 2008 SP2以降 Windows 10 Windows 8.1 Windows 7 SP1以降

- ※ 64bit OS上では32bit互換モードで動作します。
- ※ Microsoft .NET Framework 4.5.2以降がインストールされている必要があります。
- ※ 日本語版以外のOSはサポートしません。
- ※ Windows RTには対応していません。
- ※ 必要なCPUやメモリサイズは、管理するサーバ台数や収集するログによるサーバ負荷によって異なります。

### ➤ 仮想環境サポート

仮想ホストOS	Windows Server 2016 Hyper-V Windows Server 2012 R2 Hyper-V Windows Server 2012 Hyper-V Windows Server 2008 R2 Hyper-V Windows Server 2008 Hyper-V VMware vSphere 5.5 / 6.0 ※クライアントOSのHyper-Vは対象外です。 ※無償版および上記バージョン以外はサポート対象外です。	
物理マシン	CPU	第三世代(Ivy Bridge)以降のCorei5/i7 または Xeon E5 v2以上
	メモリ	4GB以上
仮想マシン	プロセッサ	論理プロセッサ:2以上 / リソース:予約 50%以上、限度100%、重み「最上位」
	メモリ	2GB以上 を静的に割当 / メモリ優先度:高推奨
	ディスク	100GB以上 IDE推奨、固定容量推奨

- ※ サポートにおいては、実環境においても発生する問題として対応します。したがって、仮想化製品固有の機能、たとえばライブマイグレーションやバックアップなどをご利用の際は、当社製品の動作についてはサポートいたしません。当社の環境(実環境)での追試で再現しない障害に関しては、お客様の環境に起因する問題と判断します。
- ※ データベースの整合性維持については「実環境と同様の使い方をしている限り」とし、仮想化製品固有の機能を使用した場合のデータベースの整合性については保証いたしません。
- ※ 仮想環境での性能は、仮想サーバに割り当てられたプロセッサ数やメモリのサイズなどのリソースに依存します。サーバ仮想化に関する一般的なガイドランスおよび各商品のガイドランスにしたがって仮想サーバを配備し、実際にご使用になる前に性能を中心にご確認ください。

### ➤ サポート対象ソフトウェア製品

AUTODESK製品およびSOLIDWORKS製品に付属するFlexNetで動作を確認しております。

ベンダー	製品バージョン	付属 FlexNetバージョン
AUTODESK	2017 / 2018 / 2019	FlexNet Version 11.13.1.2 / 11.13.1.2 / 11.14.1.3
SOLIDWORKS	2017 / 2018 / 2019	FlexNet Version 11.11.1.3 / 11.13.1.4 / 11.14.1.3

- ※ 日本語版Windows 環境のFlexNetのみサポートします。
- ※ 他ベンダー製品に付属するFlexNetでの使用につきましては、本ソフトウェアの仕様をご理解の上、お客様の責任においてご利用ください。
- ※ 他ベンダー製品における調査およびサポートは行いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ AUTODESK製品およびSOLIDWORKS製品につきましては、それぞれ上記バージョンをベースとした各プロダクトに対応しています。(一部除外あり)

- ※ 2019年5月現在の情報であり、必要動作環境は随時変更となる場合がございます。将来的にも動作を保証するものではありません。
- ※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。